

削減計画実施状況報告書 (内容)

事業所名	イチカワ株式会社															
事業所の所在地	千葉県柏市根戸200番地															
事業所の主たる業種及び事業概要	製造業（抄紙用フェルト其ノ他工業用織物ノ製造）															
報告期間	平成22年度分															
温室効果ガス 排出量報告	<table><tr><td>◎ 基準年度</td><td>5,435</td><td>t-CO2 (H21年度)</td></tr><tr><td>◎ 当該年度</td><td>6,007</td><td>t-CO2 (内訳は別紙1)</td></tr><tr><td>◎ 対基準年削減量</td><td>572</td><td>t-CO2 (増加)</td></tr><tr><td>◎ 削減率</td><td>10.52</td><td>% (増加)</td></tr><tr><td>◎ 目標年度</td><td>6,416</td><td>t-CO2 (H24年度)</td></tr></table>	◎ 基準年度	5,435	t-CO2 (H21年度)	◎ 当該年度	6,007	t-CO2 (内訳は別紙1)	◎ 対基準年削減量	572	t-CO2 (増加)	◎ 削減率	10.52	% (増加)	◎ 目標年度	6,416	t-CO2 (H24年度)
◎ 基準年度	5,435	t-CO2 (H21年度)														
◎ 当該年度	6,007	t-CO2 (内訳は別紙1)														
◎ 対基準年削減量	572	t-CO2 (増加)														
◎ 削減率	10.52	% (増加)														
◎ 目標年度	6,416	t-CO2 (H24年度)														
温室効果ガス 削減実施内容 (増加している場合は、その理由と今後の対策も記入する)	【H22年度実績値】 ・基準年（H21年）に対して 572 t-CO2増加しており、増加率では 10.5 %となる。 ・基準年のH21年は世界的な経済悪化の影響から生産量の大幅な減少があり、これに伴ってエネルギー使用量は減少したが、H22年では生産量は回復してきており、さらにH21年から稼動した新工場も本格的な稼動となり、エネルギー使用量は増加傾向にある。しかし、設備の省エネ化については計画を持って取り組み組んでおり、H22年に於いてもエネルギー使用量の原単位（生産重量に対するエネルギー使用量）では基準年を下回る結果であった。（削減率 0.2 %） ・H22年度に実施した省エネに対する施策 1. 省エネ型空調機への更新 2. 設備の効率的な運用 ① 換気設備の適正運転 ② コンプレッサの運転適正化 ③ 生産方式変更による省エネ化等 ・上期施策によるエネルギー削減量としては、総エネルギー使用量の 0.7 %に相当する。															

	【今後の削減計画】 ・計画におけるCO₂排出量の目標値は、H24年度末において1990年度比74.76%である 6,416 t としている。現状においてこの値を下回っているが、今後生産量の増加によるエネルギー使用量の増加が懸念され、以下の施策によりエネルギー原単位の低減を図る。 1. 省エネ型空調機への更新 2. 省エネ型照明（LED等）への更新 3. 高効率ボイラの採用 4. 高効率変圧器の採用 5. 生産設備の効率的な運用 ① 乾燥設備における製品幅に応じたファンの運転台数制御、回転数制御による電力削減 ② 乾燥設備における製品幅に応じたヒーターの運転台数制御による電力削減 ③ 生産設備における待機時の電力削減（非生産時停止） 6. 設計改善（無化学薬品化）によるエネルギー使用量削減 上記施策の削減目標としては、エネルギー原単位の前年度比 1% 以上としており、H24年度末におけるエネルギー削減量としては、総エネルギー使用量の 6% 程度に相当する。 以上
--	---